

第 8 回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 18 年 3 月 13 日 (月) 午後 6 時 30 分 ~ 8 時 45 分
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席委員 山本真鳥 赤星昌子 荒木俊夫 石田和以
河北祐子 毛利和弘 山本ふみこ 池田 泰

(敬称略)

会 議 次 第

1 前回会議要録の承認

第 7 回会議要録が確認された。

2 議題

選書部会報告について

{ 話し合われた要旨は以下のとおり }

委 員 これまで 10 回の討議をしながら 1 月 30 日にたたき台を基に委員会で検討した。修正案を 3 月 6 日に出してもらい、特に変更なく選書部会の報告とすることとした。提言としては、地域資料や郷土資料については、もっと PR してもよいのではということ、また武蔵野文庫については資料を追加していくことについて検討することが望ましい。視聴覚資料については教養的な内容のものを入れた方がよいのではなどの意見が出た。

委 員 外国人の市民が増えているが、多言語の図書を増やすことはできないか。将来的なことを考えると必要と思われるが。

委 員 子どもたちが、セカンドスクールに参加するにあたって、その土地の資料が少ないように思われるが、この関係の資料を増やしてほしい。ガイドブックや子ども向けの資料がほしい。県の単位で作成されている資料もあるのではないか。各市の教育委員会の出している資料も集めてほしい。また、子ども向けの武蔵野市の資料も少ないと思う。

事務局 この 3 月付けで修学旅行、セカンドスクール用の図書を学校貸出用として用意している。また学校連携の説明を学校の先生向けに行い、貸出用図書の案内や調べものの手伝いなども行っている。学校の先生にも実踏の際に観光協会などからの資料にどんなものがあるかを伺って、観光協会や自治体から寄贈をお願いしている。また、武蔵野市の子ども向け資料については、毎年予算要求をしているところだが、今のところは通っておらず、今後も出していきたい。

委 員 武蔵野文庫はどういう状態なのか。

事務局 リストとの突き合せは前年度に終了している。18 年度には専門家にどの程度貴重なものかをみてもらう調査を依頼している。

委 員 DVD の貸出はしているか。

事務局 DVD と LD は貸出していない。貸出はビデオと CD のみ。

運営委員会の報告について

委 員 蔵書数、貸出冊数について前期の報告書の数字から増減はあったか。

事務局 現在の蔵書数は、60 万冊、年間貸出数は 133 万 3 千冊となっている。

委 員 運営委員会を一般公開することについてはどうなっているか。議事録では公開することになっているが、一般的にはどのように公開するものなのか。

事務局 通常は、住所、氏名を記帳したうえで傍聴してもらう。

期ごとに委員も代わるので公開するかどうかは会ごとに決めてもよいのではないか。

委 員 運営委員会の公開については、ホームページ上で議事録を公開しているが、傍聴の実績がない状態。今後も公開する方針が望ましい。インターネットで利用できるデータベースを導入してほしい。3 階に 1 台だけあるが、あまり利用されている様子がない。PR 不足なのではないか。

- 台数を増やすとお金もかかるのか。もう2、3台はほしい。
- 事務局 ライセンスごとにお金がかかる。現在月額で3館、1社5～6万円ほどかかっている。
- 委員 本の盗難について、読みたいときに必要な本がないと困るので、盗難防止システムについては強く推した方がよいのではないか。
- 事務局 新公共施設で導入するのであれば、3館とも入れることになるであろう。
- 委員 駅に返却用のブックポストがあると便利。通勤の途中で返せると忙しい人にはよい。また、市政センターやコンビニなどに置くのはどうか。障害者や高齢者にとっても、近くにポストがあると便利だと思う。
- 事務局 他市で駅に設置しているところでは、ゴミ箱がわりにされることもよくあるときく。管理コストのことも考え、調査する価値はあるかと思う。
- 委員 武蔵野プレイスの計画書の中であったが、図書館の指定管理者制度の導入については武蔵野プレイスとは切り離して考えてほしい。武蔵野プレイスの計画で考えたものが他の図書館にもというの少し違うのではないか。
- 事務局 企画調整課に確認する。
- 委員 武蔵野プレイス自体の計画はどうなっているのか。
- 事務局 2月の特別委員会に地上4階と地下3階の部分进行削り、地上3階、地下2階とする市の案を提示した。集会施設は周辺の別の施設を利用し、駐車場については離れた場所に設けることとなっている。ただし、従来どおりの施設を造るべきという陳情が採択され、現在議会で議論になっている。15万冊規模の図書館機能はそのまま残すが、具体的な配置については現段階ではまだわからない。縮小となれば配置が変わる可能性もある。
- 委員 西部図書館を分館として残すという考えはないのか。
- 事務局 そういう考えはない。
- 委員 報告書についてはこれでよいか。
- 事務局 委員自体の任期は18年6月1日までなので、もう1回集まっていただいて、報告書としての形をとったものを作りたいと思う。
- その他
- 事務局 7月に電算システムを入れ替えたが返却もれなどの事態が頻発したということがあった。電算システムの性能や配置について、委員会で検討してもらったらどうかという指摘があった。
- 委員 ブックポストや返却カウンターからの持ち出しも考えられる。
- 委員 絶対ということはないので、危機管理的なマニュアルをつくるなど、お客さんへの対処方法を考えておくしかないのではないか。またコンサルタントに客観的にみてもらうなどの方法もあるのではないか。
- 事務局 他の図書館ではこういった対応をしているのか。
- 委員 カウンターでの盗難については、山積みになった場合は布を掛けるなどの工夫もしてみたらどうか。
- 事務局 他の図書館とはそういった情報交換はしていないが、今後は必要かもしれない。

< 閉 会 >

次回日程： 日時：4月24日(月) 18:30～

場所：中央図書館